



2018年12月18日
大倉工業株式会社

組織変更に関するお知らせ

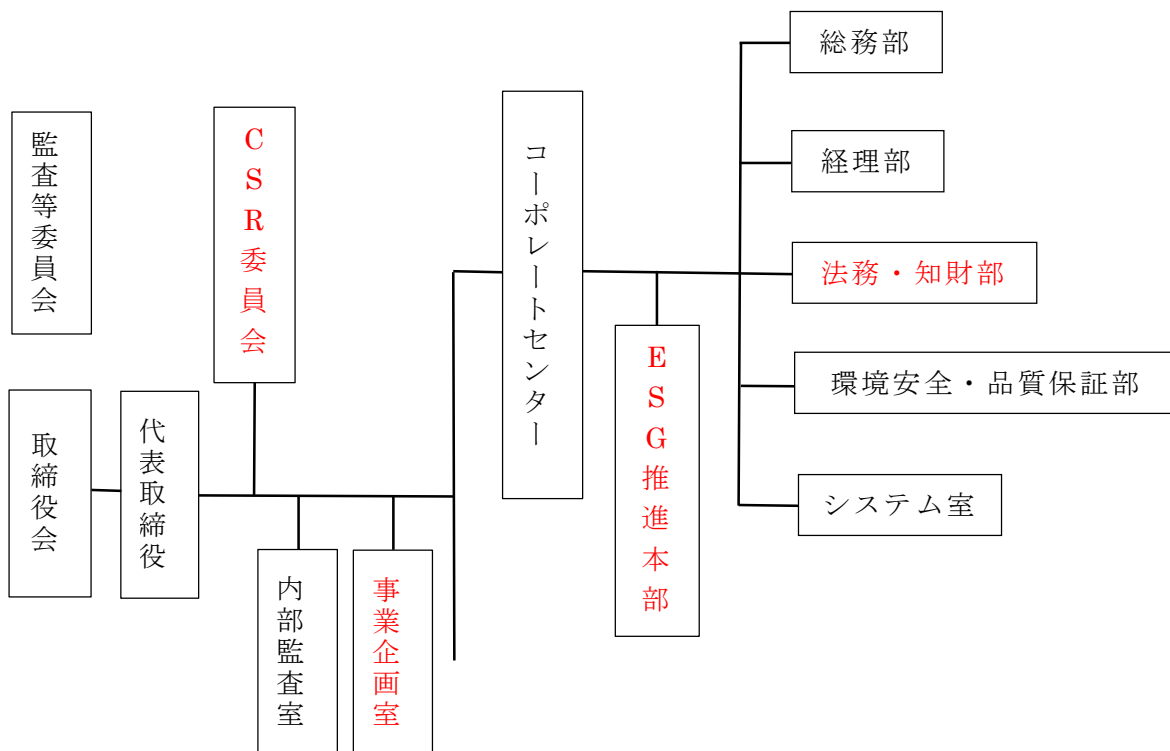
当社グループは事業活動を通じて、「人ひとりを大切に」、「地域社会への貢献」、「お客様を第一に」という経営理念のもとに行動しながら、社会から信頼される企業集団であり続けることが、当社グループにとってのCSR（社会的責任）だと考えています。そのためには、変化する社会環境の中で、ESG（環境・社会・ガバナンス）という観点を重視した事業運営を行い、持続的な成長と企業価値の向上を実現しなければなりません。

これを推進するために、代表取締役社長を委員長、コーポレートセンター担当取締役を担当取締役とした「CSR委員会」を、また、コーポレートセンター内にコーポレートセンター担当取締役を本部長とする「ESG推進本部」をそれぞれ設置します。

また当社は、2019年1月1日付で社長直属組織として、新規事業（医療機器周辺部材事業、農業関連事業、プラスチックリサイクル関連事業等）の探索を目的として「事業企画室」を設置します。これに伴い、従前の「戦略事業室」は廃止します。

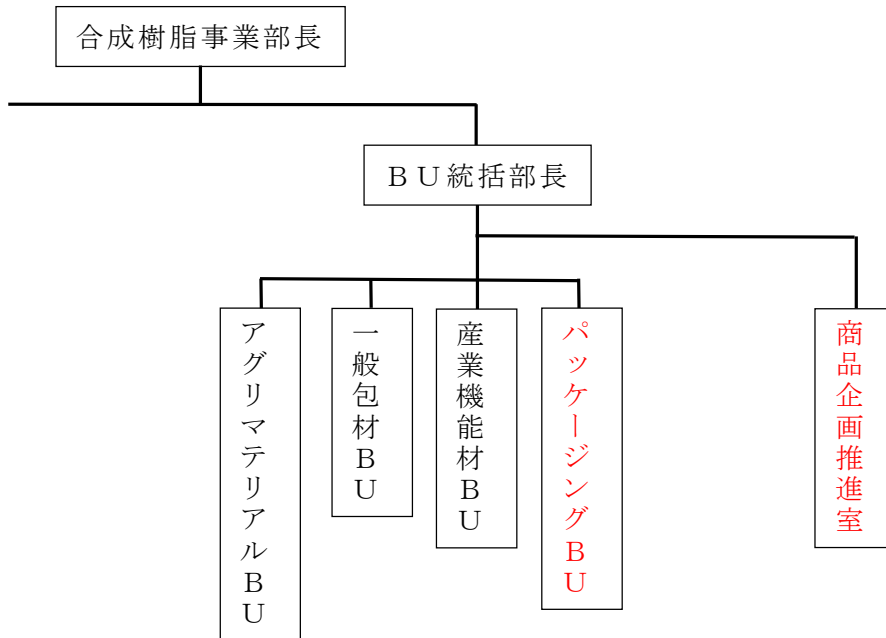
さらに、グループの企業法務の機能力アップを目的として、コーポレートセンター内に「法務・知財部」を新設いたします。これに伴い、従前の「知財部」は廃止します。

【2019年1月1日付新組織図】



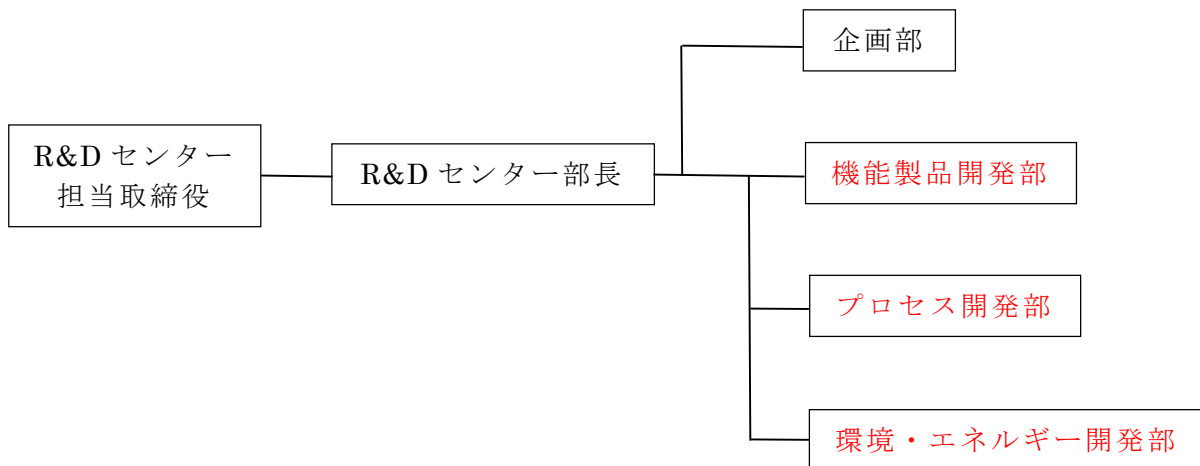
合成樹脂事業部では、2019年1月4日付で従前の「軟包材BU」を、トータルパッケージ提案（受託充填・フィルム以外の容器・紙・包装機械等）による業容拡大を目指して「パッケージングBU」に名称変更します。また、環境対応製品（バイオマス・生分解・リサイクル）の企画・開発とトータルパッケージの提案を主目的として、BU統括部長直轄の「商品企画推進室」を設置します。これに伴い、従前の商品企画グループ、海外販売グループ、東京支店軟包材パッケージ開発課は廃止します。

【2019年1月4日付合成樹脂事業部新体制図】



2019年1月1日付けで、R&Dセンターにプラスチック製品の資源循環、海洋プラ対策への対応を目的として、「環境・エネルギー開発部」を新設します。併せて、従前の「材料開発部」と「技術開発部」をそれぞれ「機能製品開発部」と「プロセス開発部」に名称変更します。

【2019年1月1日付R&Dセンター新体制図】



以上